

kuraray

Possible starts here

2022年度第3四半期 決算説明

2022年11月9日

株式会社クラレ

[億円]

	2022年度3Q	2021年度3Q	増減
売上高	5,532	4,592	940
営業利益	708	543	165
経常利益	701	510	191
親会社株主に帰属する 四半期純利益	472	286	186

参考

円／ドル (平均)	128	109
円／ユーロ (平均)	136	130
国産ナフサ 千円／kl	75	44

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

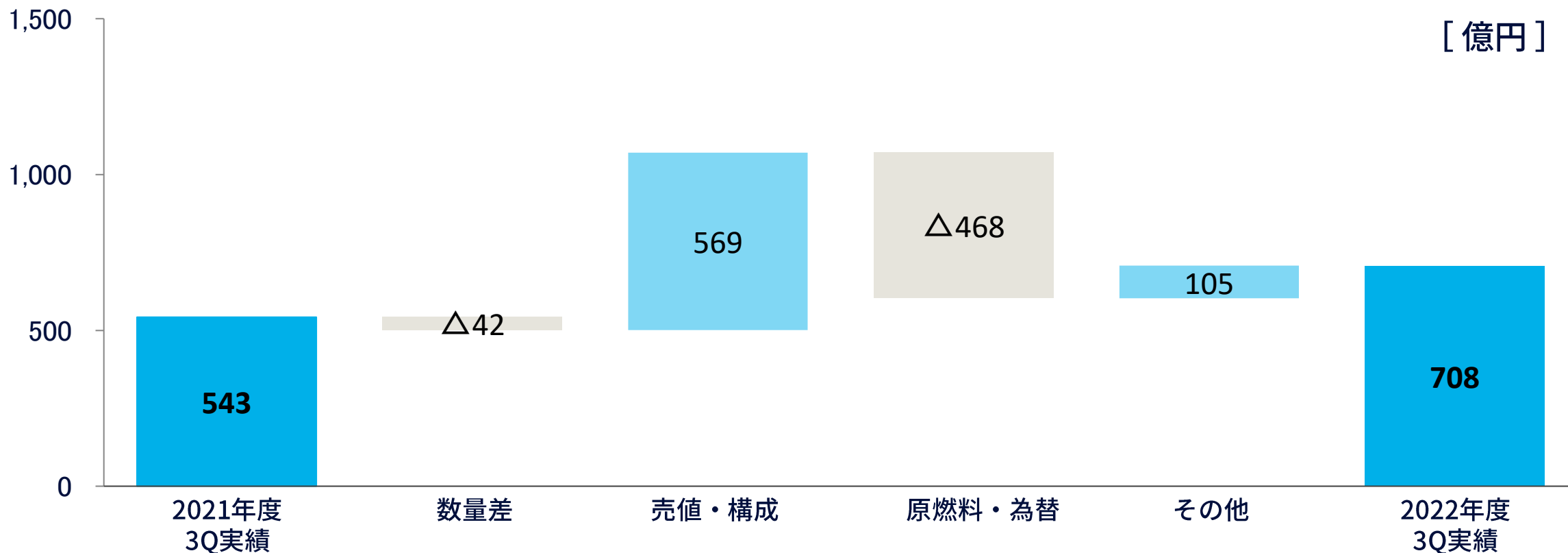
	2022年度3Q実績		2021年度3Q実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	2,856	590	2,249	438	608	152
イソプレ ^o レン	487	41	455	50	32	△9
機能材料	1,237	65	1,019	54	218	11
繊維	486	66	448	46	39	20
トレーディング ^g	438	39	1,053	36	△615	4
その他	376	19	316	10	60	9
調整額	△350	△112	△948	△91	598	△22
合計	5,532	708	4,592	543	940	165

※ 2022年度より、以下の会計基準の適用、セグメント区分の変更などがあります。

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用。(2022年度のみ適用)
- ・一部の内部取引利益の消去について、各セグメント及び全社への配分方法の変更。(2021年度、2022年度とも変更)
- ・アクア事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更。(2021年度、2022年度とも変更)

トレーディングセグメント及び調整額の2022年度3Q売上高が2021年度3Qに比べ大きく変動していますが、これは主に、トレーディングセグメントにおける代理人取引の売上高の計上額について、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、取引総額から純額へと変更することによるものです。

2022年度3Q営業利益増減分析



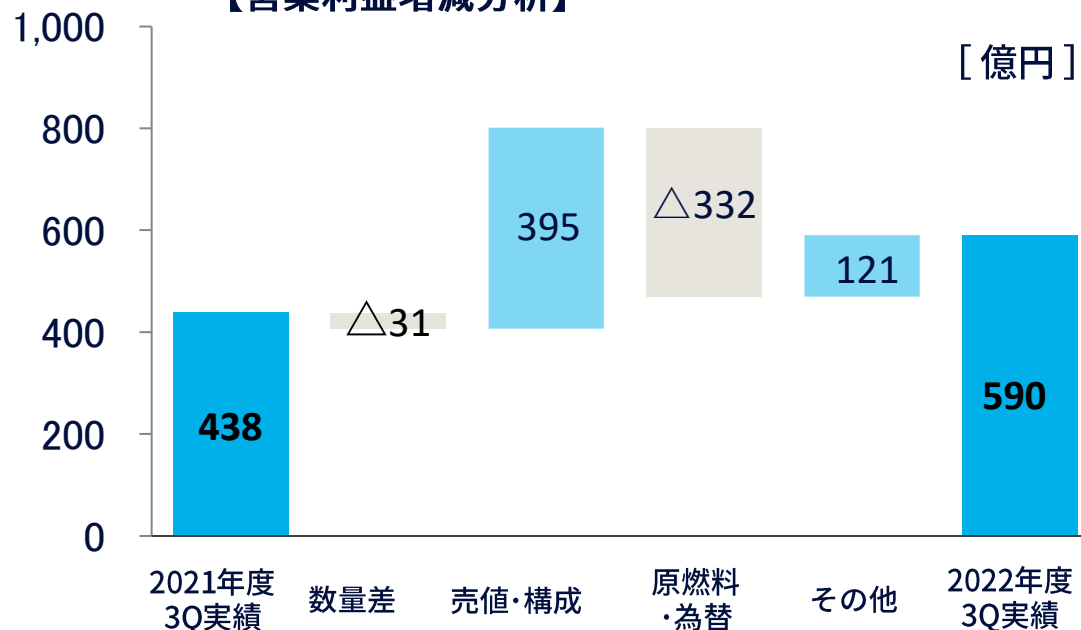
	2021年度3Q実績	2022年度3Q実績
円／ドル (平均)	109	128
円／ユーロ (平均)	130	136
国産ナフサ 千円／kl	44	75

※在庫評価差額：棚卸資産の評価方法である「先入れ先出し法」等によって生じる会計上の差額。

[億円]

	2021年度 3Q実績	2022年度 3Q実績	増減
売上高	2,249	2,856	608
営業利益	438	590	152

【営業利益増減分析】



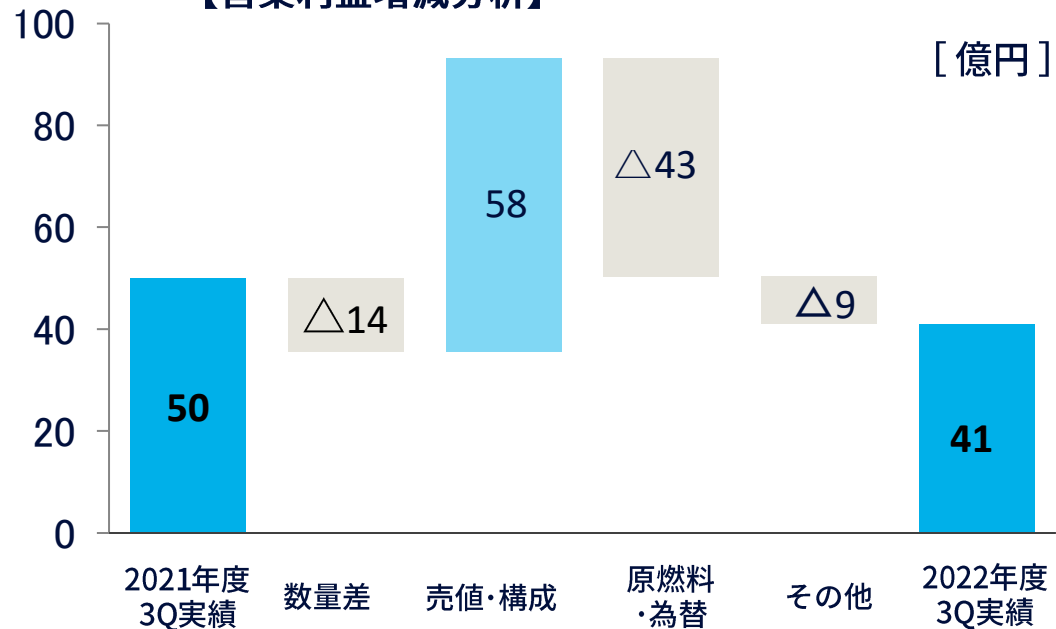
ポバール樹脂	米国子会社の一部生産設備の不具合による停止や物流混乱により販売量が減少。原燃料高騰を受け価格改定を実施。
光学用ポバールフィルム	第3四半期に入り液晶パネルの在庫調整の影響を受け、出荷が大幅に減少。テレビ用パネルサイズ大型化のニーズに対応するため、倉敷事業所での設備投資（2024年央稼働予定）を決定。
水溶性ポバールフィルム	洗濯用個包装洗剤向けの販売が堅調。
高機能中間膜	PVBフィルムで建築向けが堅調に推移。
<エバール>	好調な食品用途が自動車用途の減少を補い販売量が増加。加えて価格改定を実施。
主な増減要因	原燃料の高騰、物流費の上昇を価格改定による増益でカバー。物流費は増加したものの、在庫評価差額によりその他は増益。

[億円]

	2021年度 3Q実績	2022年度 3Q実績	増減
売上高	455	487	32
営業利益	50	41	△9

イソプレンケミカル、 エラストマー	原燃料高騰を受け価格改定を実施。 一時的な原料調達難や中国ロックダウン の影響を受け販売量が減少。
<ジェネスタ>	自動車生産減や電気・電子デバイスの在 庫調整などの影響を受け販売量が減少。

【営業利益増減分析】

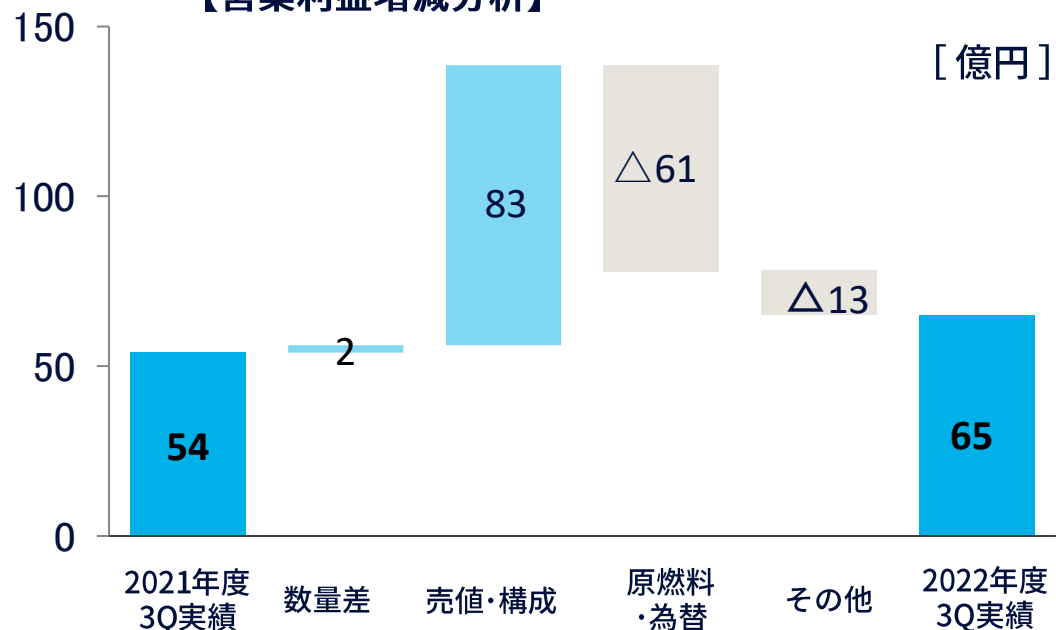


主な増減要因	原燃料の高騰、物流費の上昇を価格改定 による増益でカバーするも、一時的な原 料調達難や自動車生産減の影響で販売量 が減少。
--------	--

[億円]

	2021年度 3Q実績	2022年度 3Q実績	増減
売上高	1,019	1,237	218
営業利益	54	65	11

【営業利益増減分析】



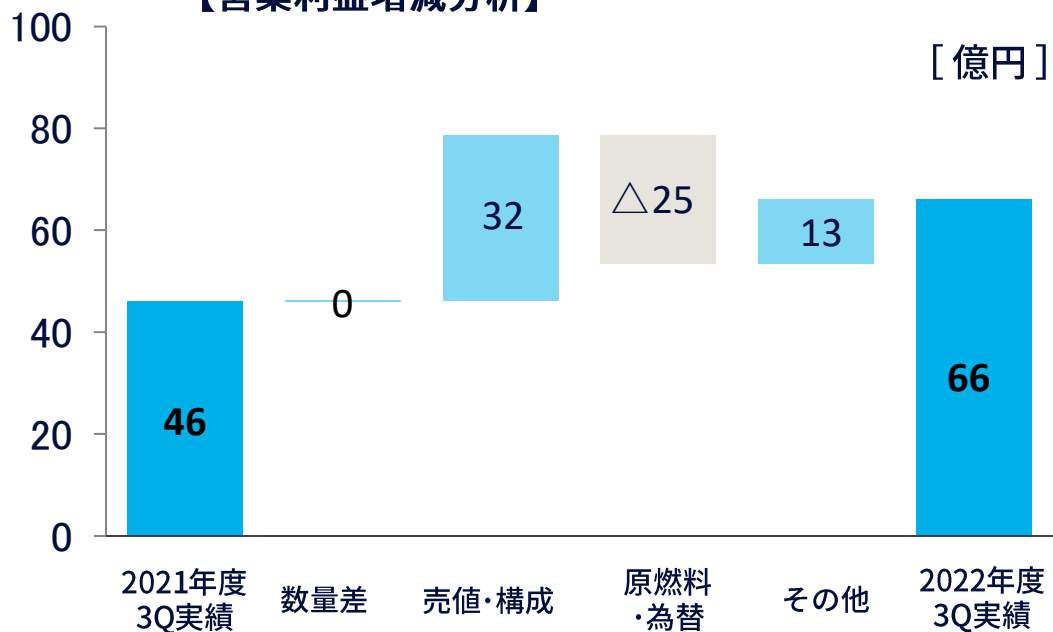
メタアクリル	電気・電子デバイスの在庫調整などの影響を受け販売量が減少。
メディカル	国内外で歯科材料の販売が拡大。
環境ソリューション	欧州を中心に需要が増え、活性炭の販売が拡大。
アクア	中空糸水処理膜の需要が堅調に推移。

主な増減要因	昨年度の原燃料上昇分も含めて価格改定を進め、原燃料の高騰、物流費の上昇をカバー。
--------	--

[億円]

	2021年度 3Q実績	2022年度 3Q実績	増減
売上高	448	486	39
営業利益	46	66	20

【営業利益増減分析】



<クラリーノ>	ラグジュアリー用途を中心に販売が堅調に推移。
繊維資材	ビニロンは自動車生産減の影響を受けたが、<ベクトラン>は輸出を中心に販売が順調に推移。
生活資材	<クラフレックス>で外食産業の需要が低調。

主な増減要因	原燃料の高騰、物流費の上昇を価格改定などによる増益でカバー。
--------	--------------------------------

[億円]

	2022年9月末	2021年12月末	増減
流動資産	5,143	4,702	442
固定資産	7,013	6,208	805
資産合計	12,156	10,910	1,246

	2022年9月末	2021年12月末
円／ドル (期末)	145	115
円／ユーロ (期末)	142	131

貸借対照表②(負債と純資産の部)

[億円]

	2022年9月末	2021年12月末	増減
流動負債	2,319	2,195	124
固定負債	2,906	2,919	△13
負債合計	5,225	5,114	111
純資産合計	6,931	5,796	1,135
負債・純資産合計	12,156	10,910	1,246
自己資本比率	55.2%	51.3%	3.9%
	2022年9月末	2021年12月末	
円／ドル (期末)	145	115	
円／ユーロ (期末)	142	131	

2022年度 通期業績予想（前年実績、前回予想との比較）

[億円]

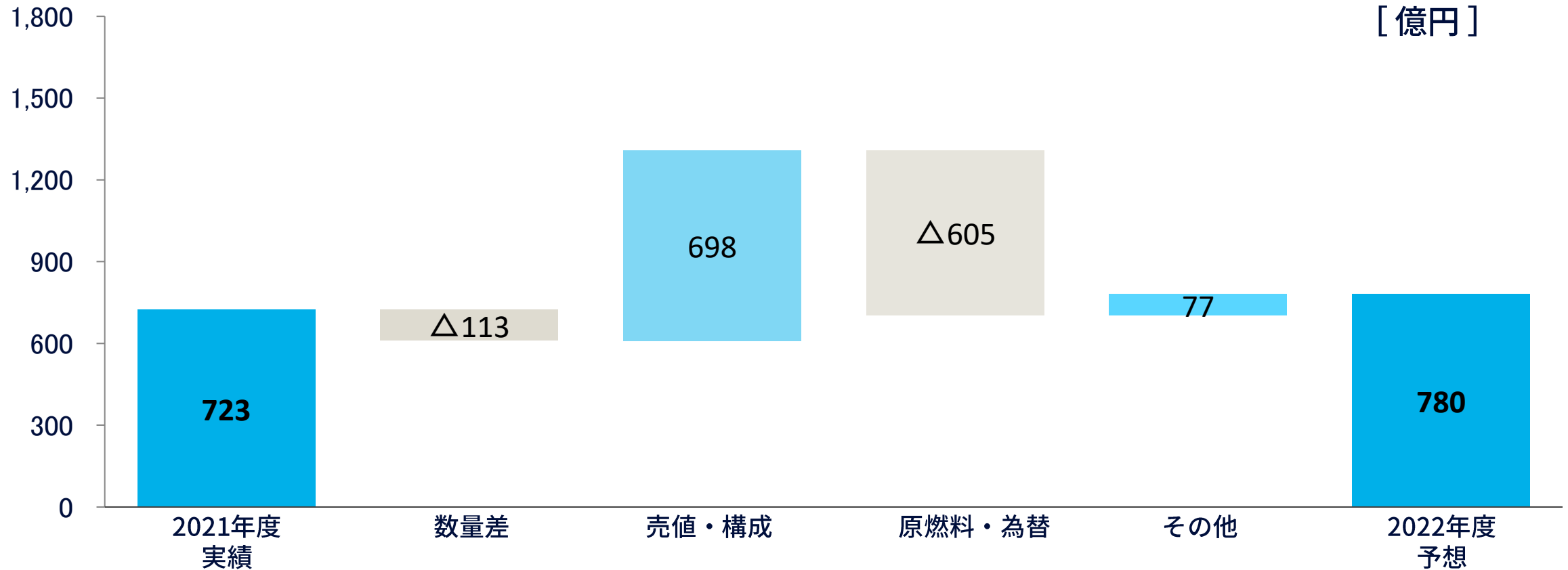
	2022年度 今回修正予想 (2022年11月9日)	2021年度 実績	増減	2022年度 前回予想 (2022年8月10日)	増減
売上高	7,600	6,294	1,306	7,400	200
営業利益	780	723	57	780	0
経常利益	750	688	62	750	0
親会社株主に 帰属する当期純利益	480	373	107	450	30
<参考>					
円／ドル（平均）	132	110		127	
円／ユーロ（平均）	137	130		135	
国産ナフサ 千円／kl	76	48		78	

【参考】セグメント別売上高・営業利益比較

[億円]

	2022年度 今回修正予想 (2022年11月9日)		2021年度 実績		増減		2022年度 前回予想 (2022年8月10日)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	3,870	670	3,047	583	823	87	3,750	680	120	△10
イソプレソ	710	50	619	61	91	△11	710	60	0	△10
機能材料	1,720	80	1,424	87	296	△7	1,660	75	60	5
繊維	690	70	611	56	79	14	670	55	20	15
トレーディング	590	50	1,440	48	△850	2	600	53	△10	△3
その他	490	25	443	12	47	13	480	20	10	5
調整額	△470	△165	△1,291	△124	821	△41	△470	△163	0	△2
合計	7,600	780	6,294	723	1,306	57	7,400	780	200	0

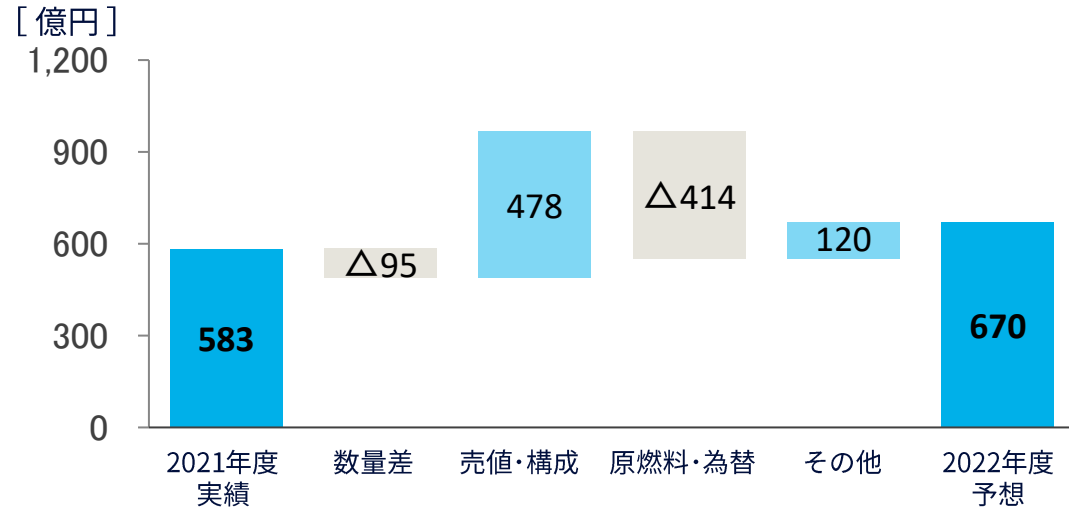
【参考】2022年度 通期営業利益増減分析



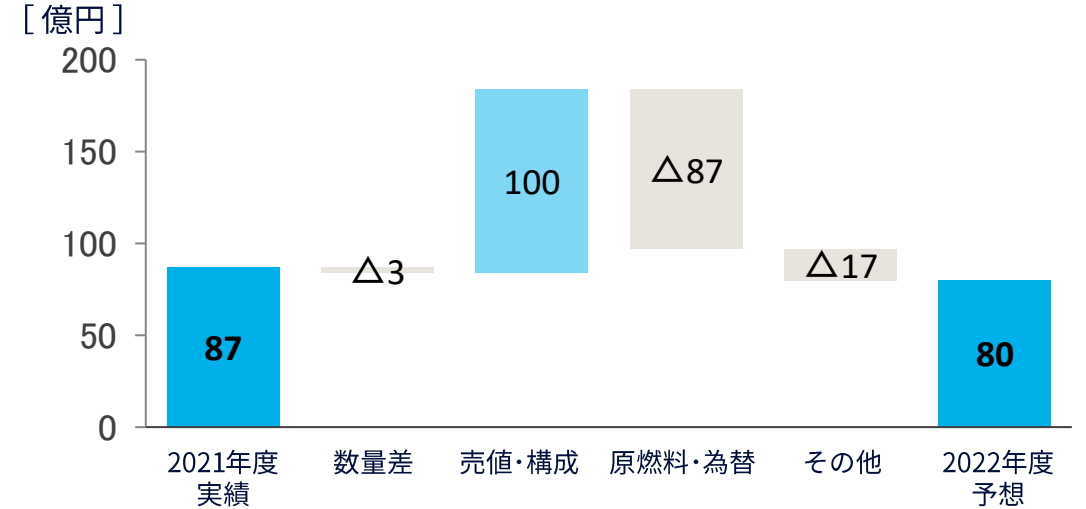
	2021年度実績	2022年度前提
円／ドル (平均)	110	132
円／ユーロ (平均)	130	137
国産ナフサ 千円／kl	48	76

【参考】セグメント別 営業利益増減分析

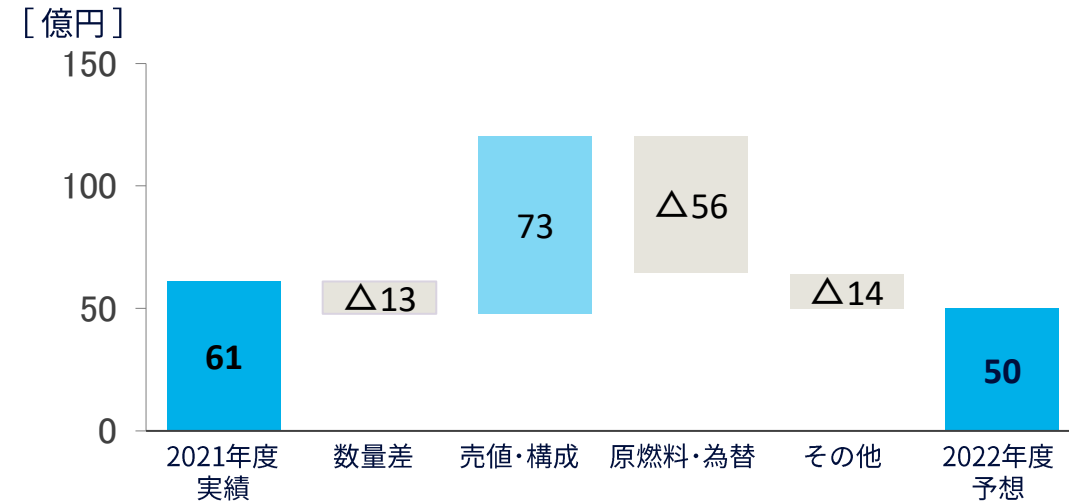
ビニルアセテートセグメント



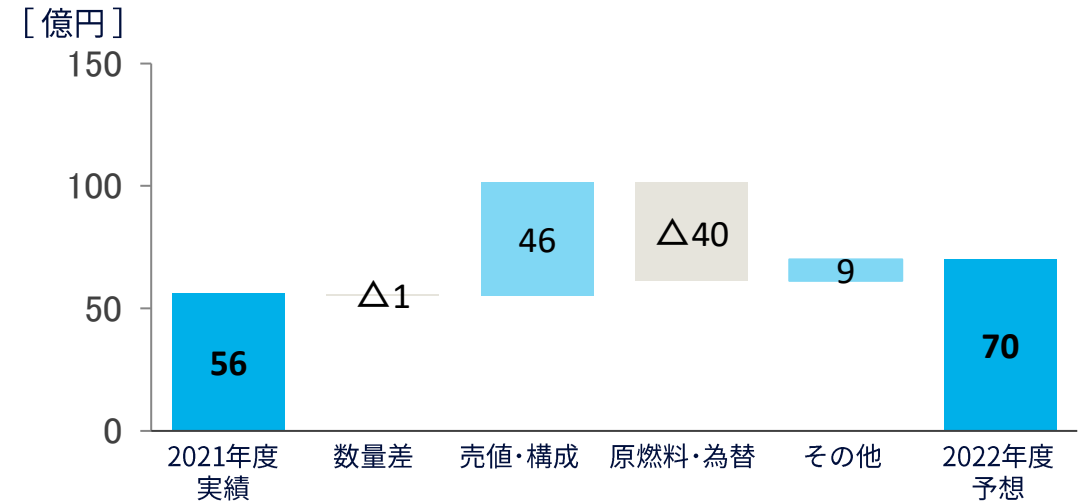
機能材料セグメント



イソプレンセグメント



繊維セグメント



【参考】セグメント別 四半期売上高推移

[億円]

	2021年度					2022年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q (予想)	年間 (予想)
ビニルアセテート	722	763	764	798	3,047	862	993	1,002	1,014	3,870
イソプレソ	149	156	150	165	619	154	165	168	223	710
機能材料	309	352	358	405	1,424	380	398	459	483	1,720
繊維	137	162	149	163	611	144	174	168	204	690
トレーディング	330	362	362	387	1,440	140	158	141	152	590
その他	96	107	113	127	443	107	130	140	114	490
調整額	△299	△322	△327	△343	△1,291	△110	△112	△127	△120	△470
合計	1,444	1,579	1,569	1,702	6,294	1,676	1,905	1,951	2,068	7,600

2022年度より、以下の会計基準の適用、セグメント区分の変更などがあります。

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用。(2022年度のみ適用)
- ・一部の内部取引利益の消去について、各セグメント及び全社への配分方法の変更。(2021年度、2022年度とも変更)
- ・アクア事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更。(2021年度、2022年度とも変更)

トレーディングセグメント及び調整額の2022年度売上高が2021年度に比べ大きく変動していますが、これは主に、トレーディングセグメントにおける代理人取引の売上高の計上額について、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、取引総額から純額へと変更することによるものです。

【参考】セグメント別 四半期営業利益推移

[億円]

	2021年度					2022年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q (予想)	年間 (予想)
ビニルアセテート	135	117	186	145	583	172	164	254	80	670
イソプレソ	30	3	18	10	61	27	△2	17	9	50
機能材料	10	20	25	33	87	22	11	32	15	80
繊維	6	17	24	10	56	16	22	28	4	70
トレーディング	11	12	12	13	48	13	15	11	11	50
その他	△0	3	7	2	12	4	8	7	6	25
調整額	△23	△36	△32	△33	△124	△33	△58	△21	△53	△165
合計	168	136	239	179	723	221	159	328	72	780

2022年度より、以下の会計基準の適用、セグメント区分の変更などがあります。

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用。(2022年度のみ適用)
- ・一部の内部取引利益の消去について、各セグメント及び全社への配分方法の変更。(2021年度、2022年度とも変更)
- ・アクア事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更。(2021年度、2022年度とも変更)

kuraray

Possible starts here

-
- 金額表示は億円未満四捨五入にしております。
 - 本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。
 - 本資料中の〈 〉表記は、クラレグループ製品の登録商標です。